



文句なし、勝負師タイキローV3!

第六期を迎えた練板オープン、初代・二期はトシ田口、三期・四期はMr.高橋、そして昨年第五期はホッシーと、歴代の優勝者を並べただけでも、ブロックではとても優勝などあり得ない戦いなのはお分かりだろう。そして、そのチャンピオンの仲間入りを果たしたのはタイキローだ。初日の決勝トーナメントで、歴代タイトル保持者を次々なぎ倒し優勝を決めると、二日目優勝者チョット今村との決勝戦で、2本ビハインドから3本連取で逆転優勝、第六期チャンピオンとなったのだ。これでタイキローはペー王、角六王に続き3回目の総合優勝、これは立派だ、これは本物だ。



タイキロー、隊長おめでとう!

初日はタイキローの独り舞台

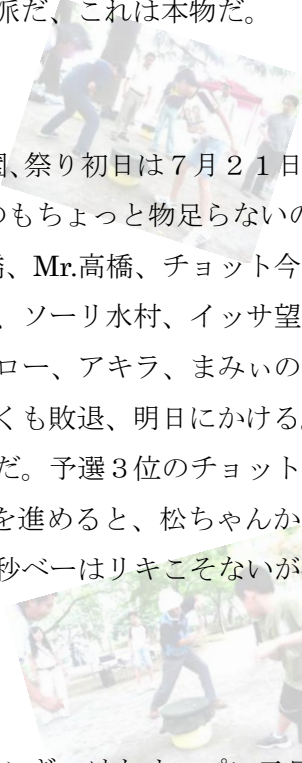
昨年と同様、長梅雨が明け切らない板橋平和公園、祭り初日は7月21日(土)真夏の暑さもきついけど、どんより曇り空というのもちょっと物足りないのだ。その初日決勝トーナメントに進んだのはMrs.高橋、Mr.高橋、チョット今村、松ちゃん、とーさん成田、作務衣師岡、トシ田口、ソーリ水村、イッサ望月、マイチャン、HULK、ユコリン、伊佐P、タイキロー、アキラ、まみいの16名、ハジィとマサキはワイルドカード決戦で惜しくも敗退、明日にかける。

決勝トーナメントで圧巻だったのはタイキローだ。予選3位のチョット今村を一蹴すると、HULK、Mr.高橋を下し決勝に駒を進めると、松ちゃんから2本連取であっさり優勝を決める。自ら削った35秒ペーはリキこそないが破壊力はバツグンだった。

二日目はチョット今村と隊長

朝からの雨にヒヤリとしたが、どうにか開催にこぎつけたオープン二日目。昨年のチャンピオンホッシーをはじめ、マサ兄、平井親子なども加わり、メンバーががらりと変わった戦いとなった。その予選を通過したのは、岩ガン、HULK、ホッシー、イッサ望月、チョット今村、アッコ、ヒラリン、豆トラ、怪鳥タケダ、Mr.高橋、マサキ、とーさん成田、マサ兄、隊長、Mrs.高橋、まみいの16名。昨日決勝で戦った松ちゃんとタイキローは予選落ち、初参加のみなさんにもきびしい結果となった。

連覇をねらったホッシーの前に立ちはだかったのは隊長だ。3本引き分けのあと、隊長のハジギが決まりホッシーの夢は消える。勢いのついた隊長はマサキ、HULKも破り決勝へ進む。一方タイトルから遠ざかっていたチョット今村が快進撃を見せる。苦しんでとーさん成田を退けると、イッサ望月、怪鳥タケ



ダ、隊長を次々と破り、二日目優勝を決める。体調が悪い分、力みが抜けてかえって良かったかも。

決勝戦はタイキローvs チョット、 女流はまみい vs 隊長

こうして迎えた決勝戦、チョット今村にとっては3年前の霸王戦以来のビッグタイトルだ。これを逃すといつ優勝できるか分からない。そのチョット得意の針ケツが効いて2本連取しあと1本までこぎつける。しかしここでタイキローが昨日の35秒ベーにスイッチし勝負に出る。この思い切りがよかった。崖っぷちからの3連勝で逆転、見事第六期オープンに輝いた。女流は初日まみい対二日目隊長の戦い、タイム2分を超える加工技術を持つ隊長が、リキで2本先取し女流王を獲得、初タイトルに笑みがこぼれた。おめでとう！タイキローと隊長。

祭りの珍事!? 四天王が復活

二日目ベスト4に顔をそろえたのはHULK、チョット今村、怪鳥タケダの元四天王。HULKが隊長に勝てば四天王による決勝戦となるどころだったが、時の流れはそれを許さなかった。リキ負け2本でHULKが敢え無く敗退。勝負勘が戻らないHULK、オマケほんこで負け癖がついたか。



マイチャン、岩ガンおめでとう!



第三代加工王はマイチャンと岩ガン

たった1年でこうも上達するのかわと思わせたのが加工王、去年のベー通信をお持ちの方は、ぜひ対比して見てもらいたい。その進歩が素晴らしいのだ。その第三代を獲得したのはマイチャンと岩ガン。短時間でこれ程のベーゴマを作る技術、まさに進化する会の面目躍如だ。岩ガンは初のタイトルベー、親子そろって忘れられない一日になったことだろう。

こどもの部 マイチャンベーはNo.11



おとなの部 岩ガンベーはNo.14

